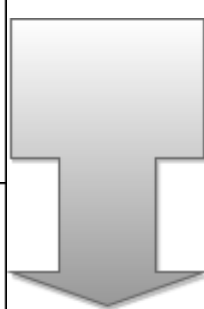


都立文京高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】
 ・指示された課題に対して、まじめに取り組むことができる。
 ・文武両道を目指し、部活動に取り組む生徒が多い。
 ・思考力、判断力、表現力とともに、創造力、想像力を更に高める必要がある。
 ・様々な筋道で物事を考え、総合的に判断する力を更に高める必要がある。

【予想される社会の変化】
 ・人工知能による生活の変化 ・人間関係の希薄、複雑化
 ・超高齢化社会 ・グローバル化、文化の多様性



【教育目標】『至誠一貫』
 「至誠一貫」の校訓のもと、東京都教育委員会の目標に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育を行い、生徒の個性や能力を磨き、生徒が自らの進路や在り方生き方について自己実現を図れるよう支援し、もって、自立し、志を立て、使命感をもった、社会に有為な人材を育成する。

【学校像/学校経営計画】
 ・進学指導の重視 ・規律ある自由の実現
 ・部活動・学校行事等の充実・発展 ・知の探究の重視

【目指すべき生徒の将来像(20年後の生徒の姿など)】
 多様な社会で主体的に活躍できる人材

【学校の教育活動全体を通して(教科横断的に)育成すべき資質・能力】
 学習力、協働力、発信力

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
学習力	自ら学ぼうとする意識がある。これまでの学習活動から得たスキルを使い考えようとする力がある。	学習に対し課題意識をもち、新しい知識・技能を積極的に取り入れようすることができる。	今までの学習と新しい知識・技能を自分の資質と能力に統合し、粘り強く多角的に思考することができる。	新しい学習課題を見つけ真摯に深い学びを得ようとする姿勢を常にもつことができる。	
協働	自他の考えを客観的に分析し、共に学ぼうとする意識がある。	自他の知識・技能を共有し、他との考えの違いを意識した上で議論することができる。	周囲と協力し多角的な思考の中から粘り強く課題解決策を見つけようすることができる。	新しい学習課題に協働して取り組み、解決しようとする姿勢を常にもつことができる。	
発信力	自らの学びや、課題解決策を自分の言葉で伝えようとする意志がある。	自己の考えがより伝わるための表現方法を考え、発信することができる。	根拠と論理を他者が理解しやすい方法で表現することを粘り強く続けようとしている。	課題に応じて根拠と論理を他者が理解しやすい最適な方法で表現しようとする意識できている。	
育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指すべき生徒の将来像
学力	学習力	自ら学ぼうとする意識がある。学習に向かうための計画性やノートテイキング等の力がある。	様々なことに対して、課題意識をもち、理解を深めようと学習することができる。	学習対象に対して、関心を持ち、追及するとともに理解を深めようすることができる。	身に付けてきた力を活用し、活かそうと全力(至誠一貫;何事も全力を尽くすことができること)で取り組むことができる。
	協働	自分の力を客観的に分析し、他者との違いなど理解し共に学ぼうとする意識がある。	自分や他者の役割や責任を理解し、共に学ぶことができる。	自分や他者の役割や責任を理解し、他者と協力して学習することができる。	他者との協力や交流を通してリーダーシップを発揮して学習できる。
	発信力	自ら学んだことを自分の言葉で伝えることができる。	自ら学んだことを相手に理解してもらえるように言葉を選んで伝えることができる。	人によって様々な考え方があることを理解して、自分の意見を表現することができる。	様々な考え方を理解したうえで、共通点、相違点をわかりやすくまとめ、自分の意見を表現することができる。
(部活動・学校行事) 人間力	学習力	特別活動に対して目的を持って取り組む意識がある。	活動に参加し、チャレンジする心、自ら考え創造する力、自立する力を高めることができる。	活動に参加する中で課題に正対し、解決策を見出し、概ね解決できる。	困難な壁にぶつかってもそれを成長の時としてとらえ、継続し、決断する課題解決力がある。
	協働	多様な人々とかかわり、思いやりの心を持って取り組むことができる。	人々の特性を理解して、協働することができる。	自分の意見を的確に伝え、チームとしての特性を理解し行動できる。	自分の意見を的確に伝え、立場の異なる人々も尊重したうえで目標に向かい協力することができる。
	発信力	基本的な生活習慣を身に付け、時を守り、場を清め、礼を正す意識がある。	時を守り、場を清め、礼を正す意識があり、行動することができる。自律しようとする意識がある。	時を守り、場を清め、礼を正す意識があり、「規律ある自由」を意識した行動がとれる。	「規律ある自由」を意識した行動をとり、様々な組織で人間力を高め、文武両道を実践することができる。
社会人基礎力	学習力	社会人講演会や地域社会を意識する中で、社会で必要とされる社会人基礎力を身に付けようとする意識がある。	アクション・シンキングを意識して失敗しても粘り強く取り組み、また、常に疑問をもち、考え抜く意識がある。	失敗しても粘り強く取り組む力と常に疑問を持ち、考え抜く力を持ち、行動することができる。	様々な筋道で物事を考え、総合的に判断し、行動する力を更に高めようすることができる。
	協働	多様な人々とともに目標に向かって協力する意識がある。	チームワークを意識して取り組むことができる。発信力、傾聴力、柔軟性を意識して協働できる。	チームで行動する中で情報把握力、規律性、ストレスコントロール力を意識し、行動できる。	その場に適した言葉を駆使してコミュニケーションを図り、チームとして課題解決に向け、取り組むことができる。
	発信力	コミュニケーション力を高める意識がある。適切な言葉使いができる。	人の話を聞き、理解することができる。人の気持ちを理解することができる。	考えの違いがあっても相手を尊重し、相手の意見を聞き、自分の意見も伝えることができる。	人の気持ちを理解し、尊重し、その場に適した言葉を駆使してコミュニケーションをとることができる。

多様な社会で主体的に活躍できる人材